

会期 2012年12月24日(月)～2013年3月17日(日)

会場 千代田区立千代田図書館 9階 展示ウォール^{ほか}

監修：浅岡邦雄氏(中京大学教授)

協力：国立国会図書館、東京大学総合図書館、明治大学図書館、
安野一之氏(国際日本文化研究センター共同研究員)、
牧義之氏(日本学術振興会特別研究員)、新井正人氏(慶応義塾大学大学院)

戦前の出版検閲を語る資料展

検閲の基準

— 発禁になった本、ならなかった本 —

戦前の日本では、内務省があらゆる出版物の検閲を行っていました。検閲にあたっては、「安寧秩序紊乱^{あんねいちつじょびらん}」「風俗壊乱^{ふうぞくかいらん}」という二つの大きな柱があり、それぞれに検閲の基準が設けられていました。この基準は曖昧さを含んだものであり、実務レベルではこれに拠りながらも、出版物の目的や読者層、その時期の社会情勢なども考慮しながら、検閲官が二冊二冊判断していました。この展示では、検閲の基準と、さまざまな要因によって判断が揺れ動いた事例をパネルで紹介します。また、千代田図書館蔵「内務省委託本」をはじめとする検閲の実態を窺うことができる貴重な本や資料を展示します。

展示関連イベント

講演会

① 奥付—誰が何のために—

日時 2013年1月30日(水) 19:00~20:30(18:30開場)
講師 浅岡邦雄氏(中京大学教授)
共催 NPO法人神田雑学大学

かつて奥付は、出版にまつわる法律や本に関わる人びとの権利と深く関わっていました。奥付と法律や制度との関係や、奥付から読み取ることができる情報についてお話しします。
ミニ展示「奥付と検閲と著作権」の詳しくわかりやすい解説です。

② 出版検閲と伏字記号

日時 2013年2月15日(金) 19:00~20:30(18:30開場)
講師 牧義之氏(日本学術振興会特別研究員)
共催 NPO法人神田雑学大学

戦前に出版された書籍・雑誌に見られる〇〇や××などの伏字記号は、検閲官に問題視されそうな表現や文言を伏せて文意を曖昧にし、発売頒布禁止や削除といった処分を回避するために用いられました。様々な記号形態や用いる際の工夫を紹介し、伏字記号が引き起こした問題について解説します。

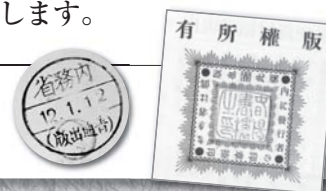
③ 出版検閲研究の最前線

日時 2013年3月1日(金) 19:00~20:30(18:30開場)
講師 浅岡邦雄氏(中京大学教授)
安野一之氏(国際日本文化研究センター共同研究員)

「内務省委託本」と出版検閲について最も詳しい研究者が、展示パネルに書ききれなかったことやこれまでの調査について、ウラ話を交えてお話しします。また、近年の調査で見えてきた検閲官の実像など、最新の研究成果をご紹介します。

①~③ いずれも

場所 千代田図書館 9 階 特設イベントスペース
席数 50 席(参加無料・事前申込不要・立ち見可)
問合せ 千代田図書館



ミニ展示

奥付と検閲と著作権

会期 2012年12月24日(月)~
2013年3月17日(日)
場所 千代田図書館9階
セカンドオフィスゾーン内ミニ展示コーナー

本の最後に付されている奥付には、発行年月日、著者名、発行者名、発行者の住所、印刷製本所名、ISBNなどが列記されています。江戸時代の和本に発祥し、明治26年からは出版法によって記載が義務付けられていた奥付。その目的は時代によって異なりますが、いずれも出版にまつわる法律や本に関わる人びとの権利と深く関わっていました。出版検閲との関係や、版權や印税の契約など奥付から読み取ることができる情報について、時代を追って解説します。

会場案内

千代田区立千代田図書館

東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所本庁舎内
電話 03-5211-4289・4290

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

開館時間 月~金=10:00~22:00 土=10:00~19:00
日・祝=12月29日~31日(日)=10:00~17:00

定期休館日 毎月第4日曜日
※展示期間中の休館日: 1月1日(火・祝)、2日(水)、3日(木)、
27日(日)、2月24日(日)



内務省委託本とは

1937(昭和12)年頃以降、内務省で検閲業務に用いられた原本の一部が、千代田図書館の前身である東京市立駿河台図書館をはじめとする市立図書館4館に委託されることになりました。当館では、これらを「内務省委託本」と呼び、現在約2,300冊が確認されています。当館の所蔵する「内務省委託本」は実際に検閲に使用されたもので、内務省の係官が内容をチェックするために引いた赤線・青線、出版の可否についてのコメントなどが残されています。発売頒布禁止となった本は含まれていませんが、当時どのように検閲が行われていたのかを知ることができるという点で、出版史上貴重な資料です。

もっと
知りたい方へ

千代田図書館の 「内務省委託本」に関連する発行物

- 『千代田図書館蔵「内務省委託本」関係資料集』
千代田図書館にて1000円で販売中
- 「内務省委託本」調査レポート
千代田区立図書館Webサイトから無料ダウンロード
- 検閲の痕跡(コメントや傍線部分)の画像を収録した
DVD(検索機能付) 2013年1月発行予定

詳しくはこちら

<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/facilities/valuable.html>